

<b>令和4年度 指定管理者施設管理評価シート</b>			<b>部課名</b>	福祉部高齢福祉課
<b>施設名称</b>	15	東京都台東区立特別養護老人ホーム蔵前	<b>指定管理者</b>	社会福祉法人東京援護協会
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		<b>指定期間</b>	H31.4.1 ~ R6.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区蔵前2-11-7 [規模] 延床面積 3,937.96㎡のうち3,363.41㎡ SCR造 地上7階地下2階 相談室、居室、食堂、ボランティア室、浴室（機械浴、一般浴）など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助（食事、介護（排泄・入浴援助））、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等。 [自主事業] 空床利用ショートステイ
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 39名 (内 訳) 施設長(1) 事務員(2) 相談員(1) 介護職員(常勤16 非常勤7 派遣5) 看護職員(常勤3) 介護支援専門員(1) 栄養士(1) 機能訓練指導員(非常勤2) (前年増減) 1名増(介護職員:非常勤2名増、看護職員:常勤1名減)

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料(指定管理料)	65,775,980	65,775,980	59,595,000	69,688,000
	利用料金収入	229,547,000	221,801,794	224,170,000	231,380,252
	その他収入(補助金事業収入等)	1,167,020	6,722,271	1,168,000	11,747,968
	計	296,490,000	294,300,045	284,933,000	312,816,220
支出	人件費	186,878,000	199,160,427	175,783,000	178,908,158
	光熱水費	21,782,000	20,992,749	23,172,000	24,483,801
	維持管理費(委託料・賃借料)	42,059,000	41,099,611	38,795,000	37,705,437
	修繕費	2,000,000	1,294,577	2,000,000	3,070,034
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(給食費等)	43,771,000	47,542,529	45,183,000	39,667,770
計		296,490,000	310,089,893	284,933,000	283,835,200
収支			-15,789,848		28,981,020

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
入所定員	人	50	50	50	50

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
利用率	%	95.6	96.1	92.4	94.9
利用者数	人	17,500	17,578	16,864	17,319

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
新型コロナウイルス感染症に伴う新規入退所中止及び空床型ショートステイ休止期間を最小限にし、マイナス収支を改善した。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令を順守し、区への報告書等も適切に期限内に提出している。防災委員会・防災訓練を毎月実施し、災害に備えて備品の整備・備蓄をしている。緊急時は区と連絡調整・協議するなど、危機管理対応に努めている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	法令に基づく配置基準以上の人員・有資格者を配置している。新型コロナウイルス感染症に伴う一時的な新規入退所中止や空床型ショートステイ休止により、入所率は94.9%と目標を下回ったが、令和2年度の92.4%より回復している。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	感染症委員会や衛生委員会を毎月実施。新型コロナウイルス感染防止対策として、消毒・空気清浄機や加湿器導入による湿度管理・訪問者への感染予防対策協力依頼など、徹底した衛生管理を行っている。全職員対象に感染予防対策の勉強会を6回実施した。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	入所者と家族を対象に満足度調査を実施している。オンラインに加えパーテーション越しの面会、個人アルバム郵送等、新型コロナウイルス感染防止対策による制限の中、ご家族の要望に応える努力をし、利用者に寄り添ったサービスが評価された。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	新型コロナウイルス感染症陽性者発生に伴う、新規入退所中止及び空床型ショートステイの休止期間を最小限にした。また、新型コロナウイルス感染症対策の補助金等の収入増により、マイナス収支が改善した。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
—	点

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 97 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>事業計画や収支予算に基づき適切に事業が執行され、配置基準以上の人員・有資格者を配置している。オンラインに加えパーテーション越しの面会、個人アルバム郵送等、コロナ禍でも利用者に寄り添った管理運営に努めている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>光熱水費や修繕費は令和2年度を上回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響による休止等の減収を最小限に留め、マイナス収支が改善した。引き続き、効率的な運営を行うことが求められる。</p>